

『本年度第1回の医療講演会が実施されました』

本校理数科では、長岡市医師会の協力をいただき、毎年、年間8回の医療講演会（1年生全員対象で4回、2年生メディカルコース対象（サイエンスコースの生徒が聴くことも可能）で4回）と、病院見学を実施しています。

6月20日（金）に、本年度第1回の医療講演会を、1年生全員を対象に実施しました。講師は、長岡西病院の板野武司先生で、「命について ～生きるということ、死ぬということの意味を考える ビハーラ病棟の現場から」と題してご講演いただきました。先生は、長岡西病院のビハーラ病棟にて『緩和ケア』に取り組んでいらっしゃいます。

以下は、この講演を聴いた生徒の感想です。

「がん」と診断された時、人はどう思うのか、どんなことを考えるのか、ということを知ることができた。受け止められるわけがないことを無理矢理受け止めさせることは大きな第二のショックになると思った。

また「がん」と診断されていない人間が、本当に死について考えることがとても難しいことなんだということを感じた。それに直面した人の気持ちは様々であるし、希望も様々である。それらに患者さんのしたいように応えることが緩和ケアなのだと思う。

患者さんは、その気持ちを家族にぶつけてしまうため、家族も気持ちが苦しくなってしまう。そんな家族を支えたり、助けたりすることも緩和ケアなのだと思う。

特に「話を聴く」という所が印象に残った。話したい人は聞いてほしくて話していたり、伝えたくて話していたりする。それを否定、無視することは、絶対にやってはいけないことなのだと思う。どんな状況でも自分を選んでくれていることを自覚すべきだと思う。

個人的に話をすることが一番心を軽くできることだと思う。楽なることもできると思う。

医療とは、単に身体を直すことではなく、心のケアをしてあげること。心と体は一緒なので、このようなことを常に意識しながら医療と関わっていく必要があると思った。

『本年度の医療に関する取組の予定』

◆ 医療講演会

(1年生対象)

6月20日（金） 「命について」 長岡西病院 緩和ケア専門医 板野武司先生

9月18日（木） 「認知症との戦い」 長尾医院 長尾政之助先生

12月16日（火） 「救急救命・災害医療について」 長岡赤十字病院 救命救急科 内藤万砂文先生

1月23日（金） 「脳の神秘に迫る」 立川総合病院 脳神経外科 阿部博史先生

(2年生メディカルコース対象)

7月23日（水） 「人類と感染症」 長岡中央総合病院 呼吸器内科 岩島 明先生

10月23日（木） 「こうして受験を乗り切った」 長岡中央総合病院 臨床研修医 吉田智彰先生

11月11日(火) 「医療に関する討論会」 長岡中央総合病院 富所 隆先生

1月28日(水) 「医療を志す高校生へ」 魚沼基幹病院 病院長 内山 聖先生

この他に、普通科を含む2年生全員を対象に下記の講演会を実施します。

10月20日(月) 「性に関する講演会」 小林レディースクリニック院長 小林真紀子先生

なお、これらの講演会は保護者の方の参加も可能です。担当までお問い合わせください。

… メール：ssh1@nagaoka-h.nein.ed.jp

◆ **病院見学**：1年生全員が下記の3つの病院のうちの1つを見学します。

7月26日(土) 午前 立川総合病院

7月30日(水) 午後 長岡赤十字病院

7月31日(木) 午後 長岡中央総合病院

『7～8月の予定』.....

7～8月には、下記の行事が予定されています。

・「第2回新潟県SSH生徒研究発表会 in Echigo-NAGAOKA」

7月28日(月) シティホール アオーレ長岡

内容：

生徒研究発表

県内のSSH指定校5校の生徒による課題研究の発表(口頭発表, ポスター発表)

生徒交流会

グループに分かれて実技課題に挑戦

参加生徒：

1年生普通科&理数科全員(授業として扱います)

2年生理数科全員(授業として扱います)

3年生理数科サイエンスコース全員(発表者)

・SSA 高大連携講座

8月7・8日(木・金)

内容：

長岡技術科学大学で2日間、実験・実習を行います。

参加生徒：

理数科1年生全員(授業として扱います)

・SSB 夏季研修

8月6～8日(水～金)

内容：

東京方面 大学・研究所・企業を訪問します。参加学年へは詳細を別途お知らせします。

参加生徒：

理数科2年生全員(授業として扱います)